

平成30年度 一般会計予算。 各特別会計予算

予算議案を審査するため、定例会初日に一般会計及び特別会計の各予算特別委員会が設置され、一般会計は3月6日から8日までの3日間、特別会計は3月9日に審査が行われました。定例会最終日には、山岸真知子一般会計予算特別委員長と小林洋子特別会計予算特別委員長からそれぞれ審査報告があり、採決の結果、一般会計及び国民健康保険事業特別会計を賛成多数で、後期高齢者医療特別会計、介護保険事業特別会計及び下水道事業特別会計を全会一致で可決しました。(8面に「議案に対する各議員の賛否」を掲載)

市長の提案説明の概要は以下のとおりです。

【一般会計】

予算総額は6百49億4千5百万円で、前年度の第2号補正、いわゆる肉づけ予算後に比べ、4.9%、30億2千7百万円の増となっております。支援が必要な人

【後期高齢者医療特別会計】

予算総額は42億2百万円で、前年度当初予算に比べ3.4%、1億3千9百万円の増となっております。

【介護保険事業特別会計】

予算総額は13億1,777,000円で、前年度当初予算に比べ1.0%、3億5百万円の減となっております。

【下水道事業特別会計】

予算総額は4,171,000円で、前年度当初予算に比べ7.3%、1億8千9百万円の減を見込んでいます。

	30年度 予算額	29年度 予算額	伸び 率	
一般会計	64,945,000	61,918,291	4.9	
特別会計	国民健康 保険事業	17,061,000	20,150,000	△15.3
	後期高齢 者医療	4,202,000	4,063,000	3.4
	介護保 険事業	13,048,000	13,177,000	△1.0
	下水 道事業	3,866,000	4,171,000	△7.3
合計	103,122,000	103,479,291	△0.3	

※平成29年度一般会計予算額は、当初予算額608億9,700万円に補正予算(第2号)の10億2,129万1,000円を加えた額

ト施策の実施とともに、公共施設更新等のハード事業にも注力した積極的な予算としています。

〔歳入〕市税が8千9百万円の減のほか、地方消費税交付金は4億9千4百万円の減を見込んでいます。これに伴い、普通交付税は1億8千6百万円の増を見込んでいます。

〔歳出〕民間保育園の運営費の増等により扶助費が増加しているほか、リサイクルセンターの更新等により、投資的経費が大幅に増加しています。

〔国民健康保険事業特別会計〕予算総額は70億6千6百万円で、前年度当初予算に比べ15.3%、30億8千9百万円の減となっております。平成30年度から都道府県が運営に加わり財政運営の中心的な役割を担うこととなり、市では資格管理、保険給付、保険料率の決定、保健事業等、地域におけるきめ細かい事務を引き続き担います。

〔歳入〕保険料は前年度に比べ3.9%、約1億4千万円の減で計上しています。一般会計繰入金を24億8千万円繰入れ、収支の均衡を図ります。

〔歳出〕保険給付費は、被保険者数の減により、前年度に比べ4.0%、4億5千7百万円の減で計上しています。

〔後期高齢者医療特別会計〕予算総額は42億2百万円で、前年度当初予算に比べ3.4%、1億3千9百万円の増となっております。

〔歳入〕保険料、一般会計繰入金、広域連合からの受託事業収入等が主なものです。

〔歳出〕広域連合へ納付する負担金のほか、保健事業に要する経費などを計上しています。

後期高齢者医療の被保険者数は前年度に比べ、600人増の2万2千3百人を見込んでいます。

〔介護保険事業特別会計〕予算総額は13億1,777,000円で、前年度当初予算に比べ1.0%、3億5百万円の減となっております。

〔歳入〕保険料、国庫支出金、支払基金交付金、都支出金、一般会計繰入金等を計上しました。

第1号被保険者の保険料を改定し、平成30年度から3年間の保険料基準額を200円引き上げ、月額5千3百円としています。

〔歳出〕保険給付費を1.4%、約1億6千9百万円の減で見込んでいます。

〔下水道事業特別会計〕予算総額は38億6千6百万円で、前年度当初予算に比べ7.3%、3億5百万円の減となっております。

〔歳入〕前年度に比べ、下水道使用料は0.9%、1千9百万円の減、一般会計繰入金金は15.5%、1億8千9百万円の減を見込んでいます。

〔歳出〕主な事業として、浸水対策、施設の老朽化対策、地震対策等を実施します。

賛成の理由を以下に述べる。①保育園運営等の働く世代を応援する施策と駅前再開発事業への取り組みは、人口及び税収増につながる攻めの予算である。また、公債費の減等、守りも考えた予算であると評価する。

②学童クラブ新設等ハード面の子育て環境整備、学習支援の拡充等ソフト面の充実等を評価する。③家庭ご

み有料化と戸別収集について、市長の強い意志が伝わった。市民の理解を得ること、また、きめ細やかな対応を強く求める。④活力あるまちづくりのために参加・自治・協働がさまざまな場面で重要となる。地域共生社会の実現に向け、行政としてきめ細やかに育み支えていく仕組みの構築を強く要望する。以上を申し添え、賛成の討論とする。

賛成の理由を以下に述べる。①災害への備えとしてマンホールトイレの整備等が前進した。②切れ目のない子育て支援策として認可外保育園の補助策等が拡大された。③女性活躍社会の下支えとしての市内事業者への働きかけなどを評価する。意見として、健康寿命延伸策等のさらなる工夫を求める。地域包括ケアシ

テム構築は寄り添う担い手、人材の育成が急務である。家庭ごみ有料化と戸別収集では市長の説明会出席が3回にすぎなかった。見解は市民に直接訴えるべきである。農業及び商工業振興への積極的支援策が不足している。参加・協働・自治の実現には市長が描く将来像をプロセスも明確にしながら示すべきである。以上を申し添え賛成討論とする。

賛成の理由を以下に述べる。①施政方針においてサービスの量から質に転換する方向性が示されたことは、少子高齢化により予想される税収減少等のもとでは到底量と質の両方は賄えないため、大変重要なことと考える。②母子世帯等、支援が必要な人に手を差し伸べる施策が不十分ながら計上されていることは評価でき

る。③投資的経費として予算で市街地再開発事業等の取り組みが具体化されてきたことは一定の評価をする。ふるさと納税の目標額設定、獲得への工夫を求める。第三次行財政再構築プランの着実な実施を求める。クラウドファンディング活用等、新しい経営手法に貪欲に挑戦する気概が必要である。以上、留意点を申し添え、賛成の討論とする。

反対の理由を以下に述べる。①補助金改革について積極的にメスを入れる姿勢が全く見えず財政健全化への覚悟を疑わざるを得ない。②原水爆禁止世界大会等への賛助金についてこれまでの外交や安全保障は市の所管でないとの姿勢に対し二重基準であり、また、政治運動への支出は自治体としてふさわしくない。③花小金井南中学校

反対の理由を以下に述べる。①福祉分野のワンストップサービスの提供について当事者の声を聞くべきである。⑦学習支援では民間団体との連携等、抜本的見直しが必要である。⑧家庭ごみの有料化について、実施に向けた周知が余りに拙速であり問題である。⑨教師の働き方改革では大胆な取り組みがなければ残業時間を減らすことは困難である。以上、反対討論とする。

反対の理由を以下に述べる。①空き家の活用を打ち出すべきである。②どのような基準で補助金を見直しているのかが見えない。③受益者負担見直しは公募市民を交え検討すべきである。④元号表記の見直しでは十分な検討が必要である。⑤市管理職の女性比率の目標を達成できそうにないことを深刻に受けとめるべきである。⑥

反対の理由を以下に述べる。①補助金改革について積極的にメスを入れる姿勢が全く見えず財政健全化への覚悟を疑わざるを得ない。②原水爆禁止世界大会等への賛助金についてこれまでの外交や安全保障は市の所管でないとの姿勢に対し二重基準であり、また、政治運動への支出は自治体としてふさわしくない。③花小金井南中学校

反対の理由を以下に述べる。①補助金改革について積極的にメスを入れる姿勢が全く見えず財政健全化への覚悟を疑わざるを得ない。②原水爆禁止世界大会等への賛助金についてこれまでの外交や安全保障は市の所管でないとの姿勢に対し二重基準であり、また、政治運動への支出は自治体としてふさわしくない。③花小金井南中学校

反対の理由を以下に述べる。①補助金改革について積極的にメスを入れる姿勢が全く見えず財政健全化への覚悟を疑わざるを得ない。②原水爆禁止世界大会等への賛助金についてこれまでの外交や安全保障は市の所管でないとの姿勢に対し二重基準であり、また、政治運動への支出は自治体としてふさわしくない。③花小金井南中学校

反対の理由を以下に述べる。①補助金改革について積極的にメスを入れる姿勢が全く見えず財政健全化への覚悟を疑わざるを得ない。②原水爆禁止世界大会等への賛助金についてこれまでの外交や安全保障は市の所管でないとの姿勢に対し二重基準であり、また、政治運動への支出は自治体としてふさわしくない。③花小金井南中学校

反対の理由を以下に述べる。①補助金改革について積極的にメスを入れる姿勢が全く見えず財政健全化への覚悟を疑わざるを得ない。②原水爆禁止世界大会等への賛助金についてこれまでの外交や安全保障は市の所管でないとの姿勢に対し二重基準であり、また、政治運動への支出は自治体としてふさわしくない。③花小金井南中学校

反対の理由を以下に述べる。①補助金改革について積極的にメスを入れる姿勢が全く見えず財政健全化への覚悟を疑わざるを得ない。②原水爆禁止世界大会等への賛助金についてこれまでの外交や安全保障は市の所管でないとの姿勢に対し二重基準であり、また、政治運動への支出は自治体としてふさわしくない。③花小金井南中学校

反対の理由を以下に述べる。①補助金改革について積極的にメスを入れる姿勢が全く見えず財政健全化への覚悟を疑わざるを得ない。②原水爆禁止世界大会等への賛助金についてこれまでの外交や安全保障は市の所管でないとの姿勢に対し二重基準であり、また、政治運動への支出は自治体としてふさわしくない。③花小金井南中学校

反対の理由を以下に述べる。①補助金改革について積極的にメスを入れる姿勢が全く見えず財政健全化への覚悟を疑わざるを得ない。②原水爆禁止世界大会等への賛助金についてこれまでの外交や安全保障は市の所管でないとの姿勢に対し二重基準であり、また、政治運動への支出は自治体としてふさわしくない。③花小金井南中学校

一般会計予算に対する 各会派の討論 (要旨)

市議会公明党 賛成

会派要望に沿った一定の事業展開がなされている

賛成の理由を以下に述べる。①災害への備えとしてマンホールトイレの整備等が前進した。②切れ目のない子育て支援策として認可外保育園の補助策等が拡大された。③女性活躍社会の下支えとしての市内事業者への働きかけなどを評価する。意見として、健康寿命延伸策等のさらなる工夫を求める。地域包括ケアシ

フォーラム小平 賛成

攻めと守りのバランスのとれた積極的な予算と評価

賛成の理由を以下に述べる。①保育園運営等の働く世代を応援する施策と駅前再開発事業への取り組みは、人口及び税収増につながる攻めの予算である。また、公債費の減等、守りも考えた予算であると評価する。

政和会 賛成

市街地再開発事業の具体化等に一定の評価

賛成の理由を以下に述べる。①施政方針においてサービスの量から質に転換する方向性が示されたことは、少子高齢化により予想される税収減少等のもとでは到底量と質の両方は賄えないため、大変重要なことと考える。②母子世帯等、支援が必要な人に手を差し伸べる施策が不十分ながら計上されていることは評価でき

日本共産党小平市議団 賛成

福祉の切れ目のない支援体制への努力等を評価

主な賛成理由を以下に述べる。①小規模保育園開設、学童クラブ増設で定員増が盛り込まれた。②児童発達支援センター設置の準備が始まることを評価する。③防災行政無線のデジタル化等、市民の安全と防災対策の拡充に努力が図られた。④産業振興基本計画に基づき事業の着実な実施に期待する。⑤新入学学用品費の前倒し支給や

生活者ネットワーク 賛成

市民の将来に重要な計画の費用が計上されている

賛成の理由を以下に述べる。①抑制的な予算措置とともに子ども育ちなどに不可欠な分野の歳出を確保しており健全な財政運営と考える。②児童館開館日の増など人に着目した施策の実施を評価する。③空き家等対策計画等、市民の将来に重要な計画の費用が計上されている。家庭ごみの有料化では市民への丁寧な周知等を求める。以上を申し添え、賛成討論とする。

緑の党こだいら 反対

家庭ごみ有料化をめぐる市民参加の問題等を指摘

反対の理由を以下に述べる。①空き家の活用を打ち出すべきである。②どのような基準で補助金を見直しているのかが見えない。③受益者負担見直しは公募市民を交え検討すべきである。④元号表記の見直しでは十分な検討が必要である。⑤市管理職の女性比率の目標を達成できそうにないことを深刻に受けとめるべきである。⑥

ムサシ 反対

補助金改革の姿勢が見えないことなどを指摘

反対の理由を以下に述べる。①補助金改革について積極的にメスを入れる姿勢が全く見えず財政健全化への覚悟を疑わざるを得ない。②原水爆禁止世界大会等への賛助金についてこれまでの外交や安全保障は市の所管でないとの姿勢に対し二重基準であり、また、政治運動への支出は自治体としてふさわしくない。③花小金井南中学校